

令和元年度 中山間地域等直接支払交付金事業実施状況

1 市町村名	芦別市		2 集落名		芦別集落		3 認定年度		27		4 協定参加者		196 名
5 協定農用地面積 〔地目・基準〕	田・急 485.3	田・緩 1,122.2	畑・急 3.4	畑・緩 188.9	草・急 2.1	草・緩 123.6	採草・急	採草・緩	計		1,925.5 ha		
6 交付金総額（うち共同取組活動）	R1		202,622千円		(102,859千円)		共同取組活動充当割合		51%				
7 交付単価別集落数	通常単価適用集落数 (A)		1		8割単価適用集落数 (B)		0		合計 (A+B)		1		
8 集落マスタープラン	(1) 集落における将来像												
	<p>①新規就農者による農業生産 集落においては、農業従事者の高齢化による労働力不足、後継者不足による離農農家の増加が現状の課題である。将来像の数値目標を新規就農者1名の確保とした。新規就農者の受け入れへの体制整備や新規就農者への指導助言体制の強化を将来像を実現するための改善策として取り組む。</p> <p>②共同で支えあう集落的かつ持続可能な体制整備 集落には急傾斜が多く、条件の悪い耕作地が存在し農作業の危険性が伴う、高齢化による農地維持・営農作業の遅滞化が進むなどの課題がある。将来に渡り耕作放棄地を発生させないことを目標とし、集落内の農作業支援体制の整備を図るための集落支援センターを設立する。</p> <p>③集落組織に対する指導・助言・連携する団体との関係を継続し、集落組織のさらなる活性を目的とし1団体以上の増加を目標とする。</p>												
	(2) 集落における現状と将来像を実現する目標（重点項目）												
	項目		現況(H26)		目標(R1)		元年度取組状況・成果						
	新規就農者の確保		0人		1人増		講演会等の実施						
耕作放棄地発生防止		0		現状維持		集落内の話し合いにより環境整備の実施							
集落内支援センター事業		0		支援センター設立		支援センター事業を設置し集落支援の実施							
集落への連携組織等の増加		4団体		1団体以上増		連携協定締結（H29：1団体締結）							
9 農業生産活動等として取組むべき事項	項目		取組内容				元年度取組状況・成果						
	(1)農用地に関する事項		①耕作放棄地の防止、維持管理等				農用地等の維持管理 93 ha						
	(2)水路農道の管理		②対象法面の保護点検・草刈				点検・草刈延長 93 km						
	(3)多面的機能増進活動		③電気牧柵の維持管理・草刈				草刈延長 149 km						
			④水路泥上げ				整備延長 34 km						
		⑤水路清掃・草刈				清掃・草刈面積 65.3 km							
		⑥農道清掃・草刈				清掃・草刈面積 67.4 km							
		⑦畦畔等ミント定植				定植面積 0.3 ha							
		⑧畑地帯に景観作物作付				作付面積 1 ha							
		⑨廃屋・廃農機具の撤去				処理量							
		⑩集落会館周辺整備				整備箇所数 11 箇所							
		⑪道路沿整備・清掃等				清掃延長 7 km							
		⑫古タイヤ処理				処理量 4.1 t							
		⑬アラゲマ設置				設置延長 0 箇所							
10 農業生産活動等の体制整備として取組むべき事項	項目		取組内容・目標				元年度取組状況						
	(1)農用地等保全体制整備（農用地等保全マップの活動）		①法面・畦畔補修 km				整備延長 0.61 km						
			②基盤整備・暗渠排水 km				整備面積 4.3 km						
			③用排水路補修・工事 1 km				整備延長 2.9 km						
			④ため池修繕 箇所				整備箇所 3 箇所						
		⑤農道整備砂利敷・安全施設 2 km				整備延長 8.4 km							
		⑥シカ対策電気牧柵設置 km				設置延長 36.9 km							
		⑦アラゲマ捕獲罠購入 個				購入・設置 6 個							
(2)地域の实情に即した農業生産活動等の継続に向けた活動						元年度取組状況							
生産性・収益向上		①高付加価値型農業の実践				栽培・研究加工・販売 0.1 ha							
						地域循環型土づくり助成 1008 t							
		②施設機械の共同化				融雪機 0 台							
						農機具 2 台							
						防除機 0 台							
						畦畔塗機 5 台							
						ハキュウム、ロールペーラー 1 台							
						生産施設新規拡助成 7 棟							
						融雪材散布委託 0 ha							
						農作業委託 86 ha							
						共同施設設置 1 台							
						農作業機械リース代 5 台							
						共同機械等維持管理 9 台							
						基幹農作業の推進(水稲防除 2471 ha							
						先進地視察研修など 6 組織							
						農業講座の開催 1 回							
多面的機能発揮		①学校教育との連携				体験圃場準備・学校との協議 13 回							
						集落支援センター事業 1 式							
1.1 元年度取組の具体的な成果													
<p>農用地管理等の取組については、前対策から協定者に周知管理の徹底を図っているため、実施されていた。集落支援事業の設置を図り、継続した農業生産活動の実施のための支援体制整備を行った。</p>													
1.2 取組状況・成果、目標の達成状況、交付金の使途等に関する評価、今後の課題と改善点													
<ul style="list-style-type: none"> <li>農用地・施設管理の共同作業の取り組みが確実に実施されて労働力の省力化が図られている。</li> <li>鳥獣被害対策として被害防止柵や罟等の整備・管理を計画的に実施していることにより、農業被害の減少が図られている。</li> <li>景観作物の作付や地域集会所等の周辺整備等にも取り組み、農村景観の環境整備に努めている。</li> <li>学校教育ではこれまで市内小学校1校との連携を図っており、H29年度は市内高校1校と新たに連携協定を締結し、地産農産物の販路拡大に向けて取組みしている。</li> <li>土地改良事業においては、各地域とも積極的に用水路等の整備・補修を実施しており、将来に向けた生産体制の構築が図られている。</li> <li>支援センター事業として人材バンクも定着してきており、引き続き人手不足の解消に向けて取組みを進める。</li> </ul>													